

(仮)豊中市キャラバン・メイト連絡会

メイト通信

＝ 号 外 ＝

(編集・発行)

豊中市 健康福祉部
高齢者支援課 地域支援係

豊中市 中桜塚 3 - 1 - 1

☎ 06 - 6858 - 2866

FAX 06 - 6858 - 3611

✉ koureishashien@city.
toyonaka.osaka.jp

平成 26 年(2014 年) 12 月 17 日

豊中市では、認知症の人が住み慣れた地域でその人らしく尊厳をもって生活できるよう、来年度末までに、市民の方の3%を目標に「認知症サポーター」になっていただこうと取り組みを進めています。

サポーターの養成は、「認知症キャラバン・メイト」をはじめとする関係者のみなさんとともに、福祉のまちづくりに向け、自らの問題として推進していくことが重要であり、情報提供やスキル習得のためのフォローアップなどのため、このたび豊中市で登録しておられるキャラバン・メイトのみなさんに参画を呼び掛けて「(仮称)豊中市キャラバン・メイト連絡会」を発足させることにしました。どうぞ、趣旨をご理解いただき奮ってご入会ください。

さあ、一緒に力を合せて「サポーターの輪」を「わがまち・とよなか」に広げていきましょう！

組織化 始めました！

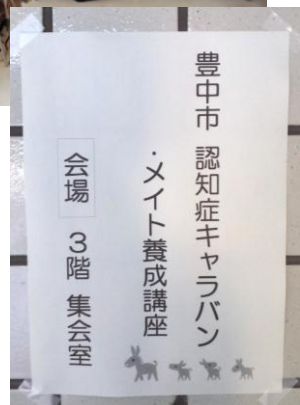


【ロバ 隊長】

認知症サポーター・キャラバンのマスコット

「キャラバン」(隊商)の隊長として、「認知症になっても安心して暮らせる町づくり」への道のりの先頭を歩いています。ロバのように急がず、一步一步着実にキャラバンをすすめていきましょう。

「キャラバン・メイト
養成講座」開催！



10月29日(水)に「豊中市認知症キャラバン・メイト養成講座」を福祉会館で行いました。

認知症サポーター養成講座の講師役となるキャラバン・メイトを養成する6時間のプログラムで、今年度は7月7日(月)に府が実施した講座に引き続き、市が主催して行ったもので、65の方が受講され、新たなキャラバン・メイトが誕生しました。(拍手)

今回は、NPO 法人「認知症の人とみんなのサポートセンター」代表の沖田裕子さん、「大阪府キャラバンメイト連絡会」会長の川本修次さん、「豊中市老人介護者(家族)の会」や「地域包括支援センター」からも指導にお越しくございました。お忙しいなか、時間を割いていただきありがとうございました。

当日は、講義や11班に分けてのグループワーク等で「みっちり」と認知症の正しい理解やその伝え方を学びましたが、初めての講座担当は誰しも難しいので、やはり「仲間(メイト)」の存在が必要ですね。

キャラバン・メイトの組織で「こんなこと」しませんか！

豊中市内での「認知症サポーター養成講座」の開催を活発化させることで、認知症になっても安心して暮らせる「福祉のまちづくり」や地域包括ケアシステム構築に向けた市民意識の涵養につなげるため、キャラバン・メイトの活動を、関係者が連携して推進できるように組織化して、ネットワークの構築と充実を図ることをめざします。

今後、活動の詳細は会員相互の話し合いで決めていく予定ですが、例えば「こんなこと」をしていきませんか …。

例えば その1 「スキルアップへの取り組み」

- * やはり、誰しも経験に一抹の不安があると、一歩前に踏み出しにくいですね。そこで、仲間（メイト）とともにスキルアップへの道筋を考えていきましょう。キャリア豊富な経験値の高い方は、ぜひその経験を伝えてくださいね！

例えば その2 「メイト活動の支援（開催情報の提供）」

- * 始めたくても地域での開催希望などの情報がないと、開催できませんよね。そこで、事務局がその情報を仲間（メイト）にお届けします。また、メイト活動の支援や相談にもあずかりますのでご活用ください！

例えば その3 「教材開発・開催先開発」

- * 「わがまち・とよなか」ならではの、サポーター養成講座の教材を仲間（メイト）と力を合せてつくってみませんか。そして、開催先も開拓して「わがまち・とよなか」を認知症サポーター養成講座で耕しませんか、小学校や中学校なども良いですね …。

例えば その4 「メイト間の交流」

- * 仲間（メイト）との情報交換や交流会を通じてつながりを広げていきましょう。次の展開や新たなステージが生まれるかも … ですね！

例えば その5 「そして・・・」

- * みなさんのアイデアで、意義ある活動になるよう願ってやみません。

市ホームページをご覧ください

市民の方に「認知症サポーター養成講座」への理解と、開催を呼びかける内容を掲載しています。なにか情報やお気づきの点等がありましたら、ぜひお知らせください。

市HPトップページ ⇒ 健康・福祉・医療 ⇒ 介護保険・高齢者福祉
⇒ 認知症サポーター養成講座

（市HPトップページからの「検索」も便利です！）



今後のサポーター養成講座の展開方法について

【 現在の開催形態と今後考えられる展開手法 】

- ① **各種団体・事業所からの依頼** 各種団体や事業所等が主催する催しとして、地域包括支援センター（以下センター）・社協・豊中市に依頼が入り、日程調整を始め打合せを行い、主催者が用意した会場へ出向き集まっている参加者に講義を行うもの。
（豊中市に入った案件は、状況に応じて担当圏域のセンターに依頼する場合もあり）
⇒ **認知症サポーター養成講座を周知・啓発し開催を活発化するため、キャラバン・メイト組織と事務局である豊中市が「作戦会議」を行い、従来の広報活動に留まることなく、情報と啓発ノウハウを共有しながら営業活動を展開して、その状況を情報発信することで、協力可能なキャラバン・メイトに講座を担当いただく。ただし、センターが従来すすめてきた、地域掘り起こしの一環として行ってきた営業活動も必要に応じて行うものとして情報共有する。**
- ② **介護施設 等主催事業** 介護保険施設等が主催する催しとして、施設等の広報活動により参加者を募り、当該施設において施設職員メイトが講義を行うもの。
（状況により、当該施設に職員メイトがいない場合は、担当圏域のセンター職員などが会場へ出向き集まっている参加者や職員に講義を行うケースもあり）
⇒ **介護施設等が主催して施設内で行っている認知症サポーター養成講座を、公開講座として広く参加者を募っていただけるように開催情報を豊中市に寄せていただき、市HPなどで公開することなどで「地域に開かれた施設」として社会化を図りながら、市民の講座受講意欲にも細かく対応できるようにする。**
- ③ **地域包括支援センター主催事業** センターの主催する催しとして企画され、主に担当圏域内のセンターが準備した会場で、地域での広報活動により参加者を募りセンター職員が講座を実施するもの。
- ④ **社会福祉協議会主催事業** 社協の主催する催しとして企画されるか、校区社協からの依頼等により、社協や校区社協が準備した会場で、主体的な広報活動により参加者を募り社協職員が講座を実施するもの。
- ⑤ **豊中市主催事業（職員研修 含）**
各部署の人権研修や業務研修の一環として高齢者支援課に依頼が入り、参加者に講義を行う形式と、高齢者支援課が会場確保等の準備のもとに全職場に向けて参加者を募り講座を実施する形式がある。



（ 認知症サポーターのイメージ ）

「 認知症の啓発活動 」としての “ 認サポ ” から
一歩進めた 「 福祉のまちづくり運動 」の展開へ

= 高齢者支援課長 ごあいさつ =

認知症キャラバンメイトの皆様方には、日ごろから本市の高齢者福祉行政の推進にご協力いただき厚くお礼申し上げます。

さてこのたびは、キャラバンメイトの皆様が認知症サポーター養成講座を活発に開催させるためキャラバン・メイトの組織化に、ご賛同・ご参加をいただきましたことを心より感謝いたします。

「認知症になっても安心して暮らせる福祉のまちづくり」にむけて、認知症サポーターの養成が一層活発化され、関係者間の連携がさらに図られることで、本市の地域づくり、まちづくり、ひいては地域包括ケアシステム構築の推進につながるものと期待しております。

結びに皆様方のますますのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、組織発足に向けてのご挨拶とさせていただきます。

豊中市 健康福祉部 いきいきセンター

高齢者支援課長 貴志 守光

お知らせ

広報活動

このたび、広報誌12月号の巻頭特集ページで「認知症」についての記事を掲載いたしました。

それぞれのお立場での、お話しをお聞きしまして改めて「認サポ」への思いを新たにしました。

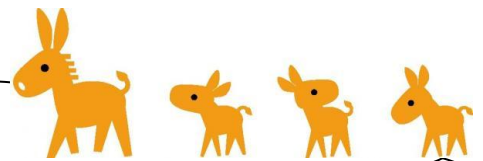
市民の方々の「認知症」に関する認識が深まる機会になればと願っています。



広報とよなか 12月号

社会福祉法人・事業者 等の責任者のみなさん

この(仮)豊中市キャラバン・メイト連絡会の活動については、社会貢献活動の一環と捉え、是非ご理解・ご協力をお願いします！



▼ 会の発足に先立ち、「号外」をお届けします。この通信は、キャラバン・メイトのみなさんへの情報提供や交流の場となればと考えており、不定期にお届けいたします。また、我々の活動への理解を深めるため、一般の方へも提供していくつもりです。ご意見・ご感想をお寄せください。

▼ 今年は、もはやインフルエンザの流行期もきており寒さも深まる毎日です。師走に入りお忙しい日々をお過ごしとは存じますが、くれぐれもお身体にはご自愛くださいませ。良き年の瀬、晴れやかな新年をお迎えいただきますようお祈りいたしております。(直)